

事業番号	09 04 29	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州こだわり食肉生産推進事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H19 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	<p>○こだわりのある食肉づくりの名匠「信州食肉マイスター」の認定が進み研修会などを通じて多くの畜産農家に高い技術の普及が進んでいる。</p> <p>○優良純粋豚の系統維持、「信州黄金シャモ」の供給・利用体制が構築され、こだわりのある食肉を利用してブランド化が進んでいる。</p> <p>○いきいき子牛の哺育育成マニュアルが浸透し、家畜市場の活性化が図られ、和牛産地で有名になっている。</p>
------	---

現状 (予算編成時)	<p>○消費者の国産志向や加工流通業者からの特徴ある畜産物の生産要請が強まってきている。</p> <p>○高い食肉生産技術を持つ「信州食肉マイスター」から、技術の伝承を積極的に進める気運ができてきた。</p> <p>○種畜等の供給に当っては計画的な系統維持や一代交雑種を生産するための信州の特徴ある種畜確保が求められている。</p> <p>○和牛子牛については、和牛いきいき子牛育成マニュアルの実践等により、特に去勢牛で発育の改善が認められる。</p>
------------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施： 実施中	種畜の系統維持や県が商標登録を持つ食鳥は、県が実施しないと供給ができず、長期的に安定して供給する必要がある ・消費・安全対策交付金交付要領 ・農畜産業振興事業補助金交付要領

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)			
	<p>○海外産の純系種豚6品種の系統維持を図る</p> <p>○信州黄金シャモの生産に必要となる認定飼育者への供給用素ヒナ・種卵を50,000羽確保する</p> <p>○和牛いきいき子牛マニュアル実践のモデル農家として重点普及指導(1地域当り1戸) 10戸</p>			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初) 決算 H28 (当初)
こだわり牛肉づくりのための基盤育成と強化	直接	和牛の能力向上のため、育種価を高める改良を推進するとともに、子牛の育成技術の普及を図る	565 457 565	
こだわりのある豚品種の生産体制の整備	直接	特色ある豚肉生産のため、海外産純系種豚6品種についての系統維持を行う	984 965 984	
信州黄金シャモの生産体制の整備	直接	信州黄金シャモの生産振興のため、種鶏の維持と種卵および素雛の供給を実施する	9,095 9,134 9,136	
合計			10,644 10,556 10,685	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	予算額				
	当初予算	10,662	10,682	10,644	10,685
	補正予算	781			
	合計(A)	11,443	10,682	10,644	10,685
	Aの財源				
	一般財源	1,479	1,473	1,436	1,315
	県債				
	国庫支出金	1,153	1,153	1,152	1,091
その他	8,811	8,056	8,056	8,279	
決算額(B)	11,352	10,792	10,556		
概算人件費					
職員数(人)	1.92	1.92	1.92	1.92	
概算人件費(C)	15,855	15,855	15,890	15,890	
概算事業費(B(A)+C)	27,207	26,647	26,446	26,575	

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
豚の品種維持	6品種	6品種	5品種	未達成	5品種
黄金シャモの供給用ヒナ確保	16,973羽	50,000羽	18,250羽	未達成	50,000羽
子牛育成マニュアル重点普及指導	12戸	10戸	6戸	未達成	10戸

目標に対する成果の状況	<p>・豚の品種維持には、病気の発生により淘汰せざるを得ない状況となり、1品種減となった。</p> <p>・信州黄金シャモのヒナ供給については、種卵供給元での病原菌発生が終息せず、安全なヒナ供給の確認検査に時間を要する場合もあり、結果的に生産量が抑えられ未達成となった。</p> <p>・いきいき子牛育成マニュアルについては、肉用牛農家における発育の改善が進んだことから、重点的に指導する対象農家が6戸に減少した。</p>
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>・信州黄金シャモの生産技術の向上及び衛生管理を徹底するとともに、衛生対策の徹底が図れる飼養施設の改築を含めた生産体制を整備する必要がある。</p> <p>・H27年度重点指導を行った6戸について、子牛の発育の改善が認められるため、H28年度継続して指導する対象農家は0戸となる。</p>